

市民ネットワークわかば

まちづくり通信

〒264-0033 千葉市若葉区都賀の台 4-5-15

☎043-284-2339 fax: 043-284-2362

ホームページアドレス <http://www.chibanet.jp/wakaba/>

No.79

千葉市議会トピックス

- 避難行動要支援者名簿を自治会や防災会に提供できる仕組みが条例化され、今年秋ごろから活用可能に。*詳細裏面
- 道路照明灯約12,500灯のLED化(リース方式)
⇒年間4900万円の経費削減
- 消費税増税に伴い、行政財産使用料(例:コミュニティセンター、市民会館、生涯学習センター、科学館、スポーツ施設など。なお現行340円以下を除く)、霊園や斎場使用料、病院事業の使用料・手数料などの値上げ(4月から)。
- 千葉市立病院の看護師等になろうとする学生に対し修学資金貸与(月5万円:貸与を受けた期間勤務すれば、返還は免除)
- 学校の耐震化26年度中に完了見込み



都賀ねこ

都賀ねこ

検索

個人で活動していたメンバーのFaceBookや知人を通し、猫好きの和が広まり発足した"都賀ねこ"。私たち9人は、Trap(捕まえて)Neuter(手術をして)Return(元の場所に返す)を略したTNRという活動と、里親会を開催し人間と猫の幸せの赤い糸を結ぶことで、猫たちの未来が少しでも明るいものになるよう日々奮闘しています。

耳がV字カットの猫ちゃんを見かけたことはありませんか。それは、一代限りの命を全うできるように不妊手術が行われた証。都賀ねこでは、それを千葉市動物保護指導センターとどうぶつ基金の手術無償制度を利用する事でを行っています。

若葉区はその名の通り美しい若葉が広がり、公園も多くありますが、そこに集まる捨て猫や野良猫に困ったり、住人どうしのトラブルがあるのも現状です。一代限りの命を地域で見守ることで、その問題を少しずつでも解決し、人と猫が共生できるような街になっていければと願っています。



しげファーム

しげファーム

検索

若葉区下田町で有機農業を営んでいる「しげファーム」の山本と申します。2001年に新規就農しました。北海道の農家の生まれですが、自分で実際に農業を行うのは、試行錯誤の連続でした。現在、妻と二人で多品種の野菜や、大豆、小麦などを作っています。

若葉区は田畑が多く農業が盛んです。でも、有機栽培農家は私の知る限り殆どいません。

有機野菜は特別なものではなく、もっと身近なものにしたい、というのが私たちの基本的な考えです。

「無農薬で野菜を作れるの?」という質問をよく受けます。もちろん野菜はちゃんと育ってくれます。ただ、虫穴一つない野菜が作りにはいけません。野菜を食べる虫もいれば、その虫を食べる虫がいる、そういう生態系が大切だと思っています。

野菜はセットにして直接配達したり発送しています。若葉区にこんな有機農家がいることを、皆さんに知っていただければ嬉しく思います。



どんな墓地に眠りたいですか?

～樹林墓地視察報告～

市民ネットワークわかばでは、千葉市営霊園の視察やエンディングに関する学習会を開催し、人生の終わり方について考えてきました。

11月には、東京都立霊園初の「樹林墓地」がある、小平霊園を視察しました。

樹林を背景にした芝生地に納骨用の27本の縦穴(共同埋蔵施設)があり、直接土に触れる形で、絹の袋に収めた遺骨を埋蔵します。死後は自然に還りたいという気持ちに応える墓地です。834㎡の土地に総埋蔵可能数は10,700体。使用料は遺骨1体 134,000円、粉状遺骨なら1体 44,000円で、毎年の管理料は不要です。

小平霊園内には一般墓地、芝生墓地、壁墓地(墓石のみが壁のように並ぶ墓地)、合葬墓、樹林墓地と様々なものがあり、個別タイプの樹木墓地も2014年に募集開始となるそうです。墓地に求められる条件が多様化していることがうかがえました。

千葉市でも平和公園に樹林墓地を検討中。他の自治体の例を参考に計画をすすめ、供用は2017年以降の見込みなので、まだ市民からの「こういう墓地にしてほしい」という意見が反映される余地はあります。皆さんがこれからの墓地に希望する事をお知らせください。要望書としてまとめ、千葉市へ提出したいと考えています。(岩崎明子)



坂月川愛好会

坂月川愛好会

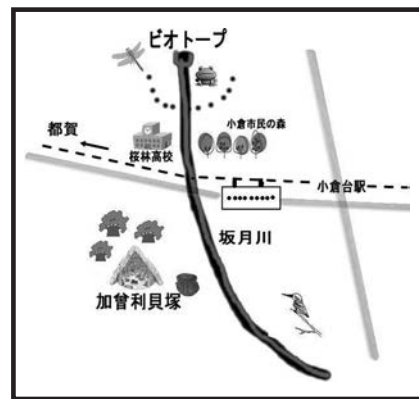
検索

坂月川ピオトープは、当初、千葉市の『身近な水辺環境事業』の一環として、地権者と協定を結び、休耕田5000㎡弱を借り受け、ピオトープとして2004年に整備されました。

本会は千葉市と協定を結び、協働管理をしています。また、継続的に専門家をお招きしたりして、動植物の保護観察を始め、2月の「ニホンアカガエル」卵塊調査、7月の「ヘイケボタル」調査、四季を通じての「トンボ」「クモ」調査(豊かな生態系の指標昆虫と言われている)、鳥類調査、植物調査など坂月川流域の生態系維持に努力しています。

後世に残したい文化遺産や環境が、これ以上開発で消えないよう、若い人たちにも興味を持っていただきたいと思っています。

坂月川愛好会の定例活動日は、第2・第3・第4水曜の午後1時半からです。1度体験参加してみませんか。その他の日でも必要に応じて有志が集まって活動しています。散歩のついでに、覗いてみてください。

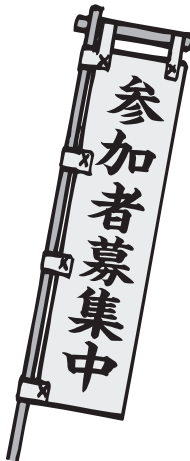


若葉区で活動している人々紹介

若葉のいずみ

申し込み先

市民ネットワークわかば事務所
☎284-2339



※集合場所は申込時にお知らせします。

◎参加費 千四百円程度
(その時の苺の種類で変動)

◎持物 弁当・飲物・敷物

◎場所 若葉区加曾利町さわの森農園

◎日時 四月二日(水)十時~十三時

自然散策といちご狩り